



診察室

ざくばらん



イラスト・野畑桃花

目まいだけなら

怖くない

椎骨脳底動脈循環不全症

目まいの診断は難しい。医者には、患者さんの訴えだけで判断しなければならぬ時もあるのだ。その患者さんの記憶が曖昧だったりして、

67歳のFさん。いきなり顔を空に向けたら、グラッと目まいがするようになった。数秒か、十数秒の間だ。はっきりしているのは、それだけである。病院の先生は、「ウーム。強いて言えば、椎骨脳底動脈循環不全症かな？」とつぶやいた。

椎骨脳底動脈循環不全症（VBI）とは、脳幹や小脳に血液を送る椎骨動脈や脳底動脈の血流が一時的に悪くなり、目まいやふらつきなどを起こすものをいう。首の過度な運動やねじりなどで起きやすい。椎骨

動脈は、頸椎の横にある横突孔を走る。頸椎変形すると、横突孔が小さくなったりする。首の動きも加わって、椎骨動脈の血流が落ちる。それが目まいの原因ではないかと言われている。

が、そんなVBIは、むしろまれなように思われる。首を動かさなくても、椎骨動脈などの動脈硬化が強いひとではVBIを起こすのではないか。

ま、メカニズムなんかどうでも良い。大事なことは、目まいに脳の症状を伴うか否かだ。目まいは回転性でも浮動性でもよい。その目まいが、霧視や複視などの視覚障害や気が遠くなるなどの意識障害。手足のしびれ、ロレツが回らない、歩きにくいなど脳の症状があるかどうかのポイントだ。脳の症状を伴う目まいを繰り返せば、脳梗塞を起こす危険性がグンと高くなるだろう。

確かに、Fさんの目まいは、首を動かして起きるVBIに似ている。が、脳の症状はなさそう。ならば、それは良性の目まいと考えて良いのではないか。でも、目まいの原因は、ホントはなんだろう？ ヤブ医者は、目まいの迷路に入り込んで徘徊している。グルグルと、頭まで回っている。

（石黒修三 いしごくクリニック
脳神経外科専門医、金沢市在住、
射水市出身）